

岸田大軍拡 外交なき暴走

敵基地攻撃能力の保有狙う

ロシアの蛮行などに乗じて大軍拡に走る岸田政権。軍事費倍増や敵基地攻撃能力(反撃能力)保有に向け安保関連3文書改定の検討を進めています。外交戦略なしに軍事力増強に熱中する動きに元自衛隊幹部からも批判の声があがっています。



改憲・軍拡許すなと抗議する人たち
=10月19日、衆院第2議員会館前

「必要なものは言葉でなく抑止力だ。反撃能力の保有は、もはや一刻の猶予もない」
衆院予算委員会では自民党の秋生田光一政調会長が迫ると、岸田文雄首相は「あらゆる選択肢を排除せず、現実的に検討を今加速している」と応じました。

「相当な増額の確保」
を対米約束。敵基地攻撃能力を支える軍事費について国内総生産(GDP)比2%への倍増も狙っています。

「防衛費大幅増額、反撃能力保有など、わが党が主張し続けたこととは、遅まきながらも実行に移されようとしている」(10月6日の衆院本会議で日本維新の会の馬場伸幸代表)

000キロ超の米国製巡航ミサイル「トマホーク」の導入まで検討しています。
日本共産党の志位和夫委員長は指摘します。「軍事に對し軍事で対応するのは悪循環に陥る。私たちは9条を生かして東アジアに平和をつくる外交ビジョンを提唱している」(10月20日の記者会見) 6面につづく



日米韓豪の合同軍事演習で米艦から発射される巡航ミサイル「トマホーク」=2019年5月、フィリピン海(米軍ウェブサイトに)

元自衛隊幹部も警鐘



元海上自衛隊幹部 軍事ライター
もんたに すうちょう
文谷数重さん

必要なのは緊張緩和の努力

岸田政権の軍事費倍増や敵基地攻撃能力導入の動きに警鐘を鳴らす元海上自衛隊幹部で軍事ライターの文谷数重さん。その訳を聞きました。

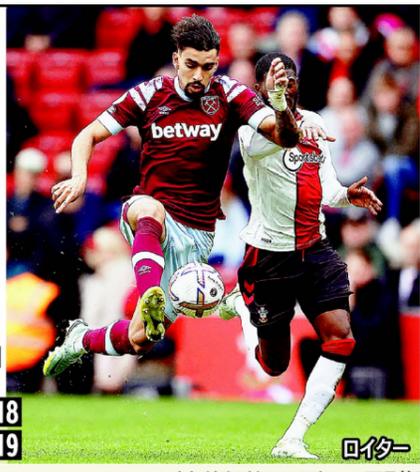
「敵基地攻撃」を巡る動きを見ていると、脅威や憎悪をあおることがかえって日本の安全保障を危うくしていると感じます。脅威をあおることが安全保障だと

「必要なのは緊張緩和の努力です。旧軍の時代、国民に脅威をあおり、憎悪が高まった結果、引くに引けなくなつて戦争にあおることが安全保障だと

衝撃スクープ

自民5派閥 パー券不記載2千500万円分

4、5面



統一協会と自民深い関係
井野氏ら政務三役国会で追及
大阪カジノ用地不正次々
障害福祉の現場へ
韓国 群衆の大惨事なぜ
〈トク報〉「要介護」で税金軽く